

推 薦 調 書

記載例 (工業系以外)

令和7年度愛知県優秀技能者表彰要領の
主に別表「職業部門」Ⅴ～Ⅷに該当する
方は、こちらを参考にしてください。

※「性別」欄：記載は任意です。未記載とすることも可能です。

和7年度愛知県優秀技能者表彰要領の
に別表「職業部門」Ⅴ～Ⅷに該当する
は、こちらを参考にしてください。

※「性別」欄：記載は任意です。未記載とすることも可能です。

推薦者

団体名

所在地

電話番号

〇〇組合

名古屋市中区三の丸〇-〇-〇

別表の職種のどれに当てはまるか
不明な場合は、御相談ください。

① 職業部門 — 職種区分 — 職種名
(別表からコード番号転記)

職種名 (別表から転記)

事業所内で本人が従事している職種

Ⅶ — 4 — ①

土石製品製造工

土石製品製造工

②氏名

(旧氏名等)

愛知一郎
(三河)

11月1日現在の年齢

③生年月日

年齢・性別

1961年 7月 20日 (64歳)

※性別

男

④最終学歴

△△商業高等学校

卒・中退

⑤現住所

アパート名まで略さずに記入のこと

名古屋市中区〇〇-丁目2番3号
〇〇マンション101号
〒460-8501 TEL (052) 123-4567

⑥就業先

事業所名

部署・地位

所在地

従業員数

事業所全体

1日平均の就労時間
(うち技能従事時間)

技能の主な従事内容

〇〇店 【自営者は屋号等】

事業主

岡崎市〇〇町〇〇1番地
〒444-0001 TEL (0564) 11-1111

2人

資本金

2百万円

8時間
8時間

石製品製造

後進への施術指導等も技能従事時間に含める。

⑦職歴

名称等

事業所名(部署名)

職務内容

在職期間

在職年数

重複を

××石材店(見習・職人)

〇〇石材店(店主)

石材加工

石材加工

始期

終期

年 月 日

年 月 日

S54 4 1

S61 3 31

S61 4 1

現在

年 月

年 月

7 0

39 7

46年7月

証拠書類のないものは記載しない

言葉が似ている組織に要確認

2025年11月1日現在の在職年数を記入

⑧審査委員歴等

名称(従事内容)

主 催 等

始期

終期

中央技能検定委員(石材施工) (委嘱状の写し添付)

県技能検定委員(石材施工) (")

県技能検定補佐員(石材施工) (補佐員名簿添付)

全国〇〇作品展審査委員 (委嘱状等の写し添付)

〇〇市△△コンテスト審査委員 (")

国・中央職業能力開発協会

愛知県・愛知県職業能力開発協会

愛知県・愛知県職業能力開発協会

全国〇〇連合会

〇〇市△△組合

年 月

年 月

H14 4

H17 3

H8 4

H14 3

H5 7

H8 3

H8 7

H8 8

H12 4

現在

【感謝状・写し添付】
【民生・児童委員等もOK】

⑨団体役員歴等

団体等名称(地位)

始期

終期

〇〇組合(理事長)

△△協会(理事)

年 月

年 月

H13 4

現在

R3 4

現在

会社の労働組合役員・会社の自主管理活動・安全対策の役員・趣味の会等の役員は対象外

交付されている手帳の写しを添付

⑩模範性

地域社会活動・実績

〇〇町内会長(H28年4月～現在)

△△小学校PTA役員(H8年4月～H9年3月)

〇〇消防団員(H3年4月～H4年3月)

刑罰の有無

破産宣告の有無

成年被後見・被保佐人に該当

交通違反罰金は5年で消滅

有・無

有・無

有・無

⑪障害の有無

障 害 名

障 害 級・程度

左下肢切断

3級

認定年月日

S59.6.8

⑫過去の推薦状況

R2年度、R4年度

合計 2回

刑の消滅:刑法34条の2による消滅

○禁固以上の実刑の時は刑の執行の終了の月の翌月から起算して10年

○現金等納付による刑の執行の終了の場合は刑の執行の終了の月の翌月から起算して5年経過した時刑の消滅となる

過去受賞者は受賞対象外

氏名	愛 知 一 郎
----	---------

⑬ 免 許 ・ 資 格 等	名 称	取得年月日	名 称	取得年月日
	職業訓練指導員免許(石材科) (免許証の写し添付) 技能検定1級(石工(石材加工作業)) (合格証書の写し添付) ものづくりマイスター認定 あいち技の伝承士認定	年 月 日 H10 11 10 S63 4 5 H26 11 7 H30 7 3	○伝統工芸士・県技能評価上級 調理師技能検定・上級着付け師・第一種電気 工事士・一級建築施工管理技士 は全て一級扱い・ ○業界認定資格は認めない 免許証の写し等、証拠書類のないものは 記載しない	年 月 日

⑭技能の特徴・評価・実績等（概要）
※技能検定1級の資格を有していない場合、これと同等以上の技能を有していることがわかる具体的な内容を記入。（表彰要領2項（3）のエ）

<ul style="list-style-type: none"> ・長年にわたり、石工として〇〇石工品の技術・技法の習得に精励し、全国に製品を多数送り出 ・新しいデザインの〇〇石の新製品を開発し、〇〇を使った細工の加工技術に優れている。 <p>（詳細は別紙や写真等を添付）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業訓練指導員の認定を受け、後進の指導育成に多大に貢献している。 ・〇〇組合において長年役員を担い、業界の発展に尽力している。 	<p>詳細は別添書類とし、 簡潔に概要のみ記載 する</p> <p>表彰状の写し等、 証拠書類のないも のは記載しない</p>
--	---

⑮ 表 彰 ・ 入 賞 歴	名 称	受賞年月日	表彰実施団体	表彰の内容
	競技大会等に対する表彰・入賞 〇〇コンクール 優秀作品賞 第×回 技能五輪全国大会 入賞 △△フェア 優秀賞 叙勲、褒章、その他功績に関する表彰 △△会 貢献表彰 愛知県職業能力促進大会 功績表彰 ××市 功勞表彰	年 月 日 H12 11 1 H20 11 5 H24 5 20 H14 8 10 H10 11 20 H15 9 15	 〇〇組合連合 中央職業能力開発協会 愛知県△△組合 愛知県技能士会連合会 愛知県職業能力開発協会 ××市	 優れた技能に対する表彰 (表彰状の写し添付) 〇〇職種 第3位 (表彰状の写し添付) 優れた技能に対する表彰 (表彰状の写し添付) 事業推進に対する感謝状 (表彰状の写し添付) 訓練生指導功績(表彰状の写し添付) 市政功勞(表彰状の写し添付)

⑯ 後 進 の 指 導 育 成 実 績	件 名	始 期	終 期	内 容	
	公共職業訓練又は 県の認定職業訓練 (指導員又は講師)	年 月 H5 4	年 月 H13 3	公共職業訓練校名又は県の認定職業訓練実施団体・事業所名 〇〇技術工学院 (講師)	訓練科名 〇〇科
	内部の教育訓練 (取引先企業・関係団体を含む)	S60 4 H20 4	H2 3 H24 3	後継者への技術指導 〇〇組合の組合員への技術指導	関係組合への 技術指導
	海 外 技 術 指 導	H6 7 H14 1	H6 8 H14 3	〇〇国〇〇会社における現地技術指導 〇〇国からの研修生に対する技術指導	

3年間にわたり1年当たり2日ずつ指導した場合	通算の指導実日数	指導に当たった日数を通算し、必ず記載する	容
2年間にわたり1ヶ月当たり2日ずつ指導した場合	6 日	あいち技能プラザ(2010~2012)	
10年間にわたり1ヶ月当たり5日ずつ指導した場合	48 日	〇〇短期大学 〇〇技術講師	
	600 日	△△会社への技術講習会	取引先でない会社 への技術指導
	24 日	〇〇文化センターでの技術講師	

⑰ 作 業 改 善 等	区分	特許 件	実用新案 件	意匠登録 件	その他 2 件
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ導入による図面製作工程の合理化を図る。(詳細は別紙や写真等を添付) ・△△工程マニュアルを作成し、分業化を可能とした。(詳細は別紙や写真等を添付) <p>文化財には天然記念物史跡・国宝を含む</p>			

⑱文化財の保存又は生業的職種に従事の有無					
始期		終期		文化財の名称(指定状況)・所在地・修復内容、従事内容等	
年 H7	月 8	年 H9	月 7	〇〇神社〇〇灯籠(〇〇県△△市、〇〇県指定文化財第〇号)の〇部分の修復	
S54	4	現	在	伝統的工芸品である〇〇の製作に従事	

伝統的工芸品や郷土伝統工芸品の製作に従事した期間や内容を記載する

文化財登録されている場合は
詳細を明記する